

千葉森林管理事務所の沿革

明治 22 年	東京大林区署 千葉派出所が設置され、県下一円の官林を管理 久留里派出所を設置
明治 23 年	大多喜派出所を設置
明治 24 年	派出所が小林区署と改称される
明治 30 年	森林法公布
明治 32 年	国有林野法が公布され、官林は国有林野と規定された
明治 40 年	千葉小林区署、大多喜小林区署が合併され、茂原小林区署となる
大正 3 年	茂原小林区署、久留里小林区署合併され、久留里小林区署となる
大正 12 年	久留里小林区署が千葉市長洲町に移転し、千葉小林区署と改称される
大正 13 年	東京営林局 千葉営林署と改称される
昭和 21 年	千葉市稲毛に移転
昭和 22 年	林政統一、戸崎、法木、鬼泪山の旧御料林を国有林に編入
昭和 27 年	千葉市新田町に新築移転
昭和 59 年	千葉市稲毛に新築移転
昭和 63 年	松野担当区を上野担当区に統合
平成 4 年	担当区事務所を森林事務所に改称 笹担当区を上総担当区へ統合
平成 11 年	関東森林管理局 千葉森林管理事務所へ組織改編
平成 25 年	一般会計へ移行し、内部組織の改編(グループ制)